

船井総研グループは 多様なニーズに応える 「信頼の総合経営 コンサルティンググループ」 を目指します。



2017年から2019年に向けて船井総研グループは、
新たに策定した中期経営計画
「Great Value 2020」の基本方針のもと、
事業基盤を強固にしながら、
信頼の総合経営コンサルティンググループとして前進していきます。

株式会社船井総研ホールディングス
代表取締役社長 グループCEO

高嶋 栄
Sakae Takashima

■ 2016年12月期の振り返り

船井総研グループは、2014年度のホールディングス体制に移行後、
経営者に寄り添い、共に成長を続けていく
総合経営コンサルティンググループとして、
さらなる業容の拡大による価値創造を進めてまいりました。

2014年7月のホールディングス体制への移行後も当社
グループの連結業績は順調に推移し、2016年度実績で売上
164億円(昨対111.7%)、営業利益38億円(昨対110.4%)と
なり、3か年計画(2014年～2016年)で掲げていた売上1.5倍
という目標を達成し、4年連続で過去最高益となりました。
この結果は、「高い成長力」という3か年のテーマ(2014-2016)
のもと取り組んできた3つの挑戦が実を結んだものと考えて
おります。まずは従来からの成長実行支援型の経営コンサル
ティング事業にテーマ型の人材開発支援のコンサルティング

事業を新たに並走させることで経営コンサルティング事業
全体の売上が増加したこと。またストック型コンサルティング
サービスである「経営研究会」の会員数増を主軸とした顧客
基盤の強化に全社をあげて取り組み会員数を順調に伸ば
すことができていること。そして新卒100人採用と早期
育成の両立が実現できたこと。これらの挑戦の結果、当社
グループの重要戦略である事業戦略と人財戦略が相互
に機能しました。3か年計画の節目の年である2016年は
堅調な結果で終わることができました。



■ 新たな中期経営計画 Great Value 2020の策定(2017年～2019年)

船井総研グループでは、「グレートカンパニーを創る」という大きなミッションを掲げております。このグレートカンパニーとは、収益性・教育性・社会性を兼ね備え、持続的な成長を実現する企業を指しています(※詳細はP71)。グレートカンパニーを創るためには自らもグレートカンパニーである必要があります。創業以来、我々は顧客とともに成長を遂げてきましたが、未だ道半ばです。当社グループのグレートカンパニー化を2020年に実現するため、「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の3つのフェーズに分けた10年にわたる経営計画を立て実行してきました。2017年度はグレートカンパニー化に向けた総仕上げの3か年の最初の年にあたります。そこで新たな新中期経営計画「Great Value 2020」を策定し

ました。既存の経営コンサルティング事業の強みをより一層磨き込みながら、引き続き事業戦略と人財戦略の2つの軸を重要戦略に掲げ、3か年で「信頼の総合経営コンサルティンググループ」を目指します。具体的には事業戦略の中心となる経営研究会の会員数1万社化を目指し、その顧客基盤を活かして様々なコンサルティング事業を展開していきます。また人財戦略においては、グループにおけるコンサルタント職の採用200人以上を目指し、経営コンサルティングサービスの多様化と品質向上に対応し、持続的な成長を支える人材面の強化も平行して進めてまいります。

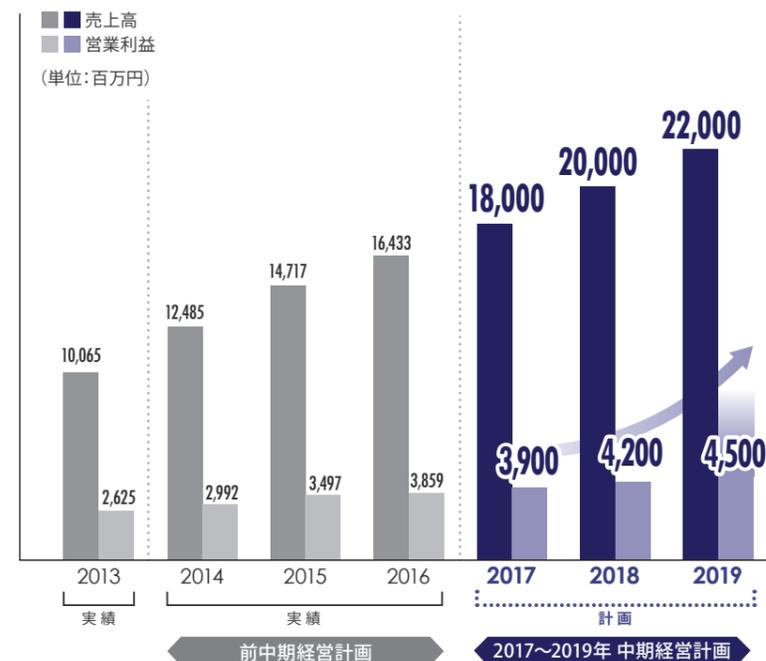


事業戦略	コンサルティングの高収益化 営業利益率 20% ▶ 26% (当初目標25%)	ストック型コンサルティング強化 3年1.5倍成長 売上高 100億円 ▶ 164億円 (当初目標150億円)	総合経営コンサルティンググループの実現 経営研究会会員数 『1万社』実現
	人財戦略	計画の人財開発 ●新卒 50人 採用 ●社長採用	船井総研 コンサルタント採用拡大 ●新卒 100人 採用 ●人財開発本部の設置

2010 → 2015 → 2020

■ 新中期経営計画(2017年～2019年)数値目標

新中期経営計画の数値目標は、右記の図のように、2019年に売上220億円、営業利益45億円の安定的な成長を目指します。その中でも、営業利益の数値目標は、早い時期の目標達成を視野に入れた3か年を目指し、目標とする45億円の達成を目指したいと考えています。



■ 2030年の未来を見据えて

新中期経営計画の「信頼の総合経営コンサルティンググループ」の実現を基本方針とし、右記の内容を推進していきます。2019年までの3年間は10年プランの着地となる中期経営計画であるとともに、2020年から2030年の未来を見据えた、種をまく時期にしていきたいと考えています。

